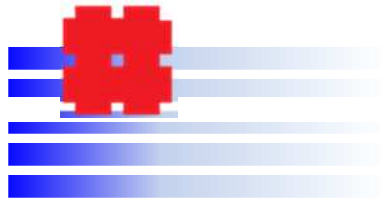


調査報告書(案)の作成について

令和3年12月21日

令和3年度第3回外国人材受入れ
に関する専門部会資料



本日より今後の予定

第3回専門部会 (本日)

- ・ 議 事 外国人材受入れに関する調査報告書（案）について
（内容の確認及び審議）

意見の反映・修正

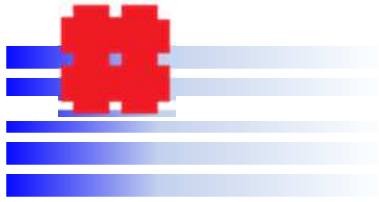


「外国人材の受入れに関する調査報告書」の作成

第2回岐阜市多文化共生推進会議 (令和4年1月開催予定)

- ・ 報 告 外国人材受入れに関する調査について

GIFU CITY



これまでの審議等

第1回専門部会

（開催：令和3年6月25日（金））

- ・ 会長の選任
- ・ 議 事 外国人材受入れに関するアンケート調査について
→実施概要・アンケートの質問事項について審議
- ・ その他 外国人材受入れに関する各委員の意見等

アンケート調査

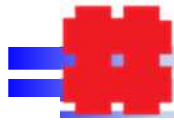
（実施：令和3年7月28日から令和3年9月30日）

- ・ 基準日 令和3年7月1日
- ・ 対 象 市内の事業所983件
- ・ 回収状況 回収件数：572件 （回収率：58.2%）

第2回専門部会

（開催：令和3年10月27日（水））

- ・ 議 事 外国人材受入れに関するアンケート調査の結果について
→調査結果の確認、現状、課題等に関する審議

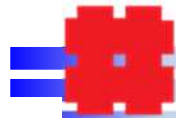


これまでの部会における各委員の意見等①

第1回

【外国人材受入れに関する各委員の意見等】

- ・ 現在の日本は少子高齢化により人口減少社会となっており、特にマンパワーが求められる業種においては、外国人材に頼らざるを得ない状況である。そういった背景から、現在は新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、今後は岐阜市内に在住する外国人も増加していくことが予想されるため、多文化共生の推進が重要である。
- ・ 労働力としての外国人は重要と考えるが、都合よく雇用できる、安い賃金で雇用できるということではなく、必要な人材として、また、地域住民の一人としても協力していく必要がある。
- ・ 今は日本で働きたいという外国人が多くいると聞いているが、外国人が良い実感をもって母国に帰国しないと、日本で働きたいと思う外国人が減ってしまう。外国人を低賃金の労働者としてではなく、同じ仲間としてとらえることが重要である。



これまでの部会における各委員の意見等②

第1回

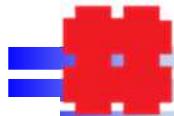
→実施概要・アンケートの質問事項について審議

【アンケートの質問項目等】

- ・ アンケートの在留資格の項目について、高度専門職を回答の一つに追加するべきである。
- ・ 外国人を雇用した理由のほか、具体的な雇用に至る経緯を尋ねた方がよい。今後の施策への反映や取組につながっていく。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響について、コロナ前、コロナ禍の中、コロナ後で、回答が変化する。回答を依頼する際、どのような前提で回答してもらうかを分かりやすく示しておくことが必要である。



アンケートを修正



これまでの部会における各委員の意見等③

第2回

→アンケート調査結果を踏まえ、現状、課題等について審議

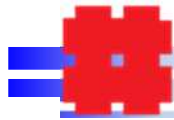
【雇用の状況】

- ・ 従業員数が多い事業所はマンパワーに頼らざるを得ない業種もある一方で、従業員数が10人未満の事業所であれば、日本人だけで対応できることも多いのではないか。
- ・ 事業所規模別に外国人雇用の進捗状況を検証するためには、事業所内の従業員数全体に占める外国人の割合等も分析する必要がある。

【雇用する理由等】

- ・ 介護分野では人手不足が深刻で、ベトナム人がここ最近多く雇用されている。介護施設の施設長自らが、ベトナムへ行って労働者の雇用ルートを確保している状況と聞いている。雇用している事業所数は微増であるものの、外国人労働者の人数は平成30年と比較すると倍増している。
- ・ 担当職員を外国人とすることについて、当初取引先に難色を示されたケースであっても、その後の評判は良くなることも多く、日本語の課題はあるものの、外国人職員は評判が良い。

GIFU CITY

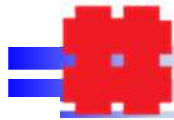


これまでの部会における各委員の意見等④

第2回

【受入に係る課題等】

- ・ 岐阜市だけでなく、全国的にベトナム人は増加しているが、ベトナム人にとって日本語能力は大きな課題
- ・ 事業者は事業者として、日本語教育を行っており、技能実習や特定技能であれば、監理団体や受入れ事業所、登録支援機関が外国人のサポートの一部を担うこととなっているため、役割分担が必要ではないか。
- ・ 日本語学習支援について、日常会話で用いられる日本語に加えて、それぞれの業種で専門用語の習得が求められることも多い。日本語講座において、例えば、宿泊業のための日本語講座等、テーマを設けて実施することがあってもよいのではないか。
- ・ コミュニケーションに関することが課題として挙げられているが、これは外国人労働者側のみの課題ではなく、受け入れ側の日本人の課題でもある。日本人が外国人に対し、興味や関心をもって理解しようとすることもコミュニケーションを円滑にする重要な要素と考えられる。

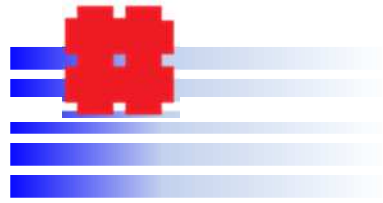


これまでの部会における各委員の意見⑤

第2回

【その他】

- ・ 外国人が住宅を賃借しようとした際に、家主に敬遠されるなどの事例が発生している。
- ・ 特定技能、技能実習、在留資格「介護」等、介護分野で就労できる在留資格は数が多く、その違いも分かりにくく、難しい。
- ・ 外国人労働者を、安価な労働力として扱うべきではない。彼らはいずれ母国に帰ることから、岐阜市にとって観光親善大使とも言える。外国人を雇用する場合、岐阜は空気も水も美味しく、治安も良いところだと説明しているが、今後も数多くの外国人にそういった岐阜市の良いところをPRできるとよい。



調査報告書(案)の概要

報告

- ・ アンケート結果を踏まえた本市の現状
- ・ アンケート結果を踏まえた本市の課題
- ・ 今後の多文化共生推進について

調査・検討の経過

- 1 アンケート調査の実施概要及び質問項目についての検討
- 2 アンケート調査の実施及び結果について
 - (1) 実施概要
 - (2) 調査項目
 - (3) 調査結果の概要
- 3 アンケート調査結果を踏まえた、現状、課題等についての考察

→ 資料2 にて詳細説明

GIFU CITY